

# 配偶者を亡くして一年日記

(2)

## 団士郎

妻が亡くなって一年三ヶ月経った。少し遅らせて一周忌も済ませた。遺骨は相変わらず我が家の一階の居場所に鎮座している。帰宅すると「ただいま」と声をかけて、時にはお線香も。

日常生活は一人暮らしである。しかし意識として「独身」になった感覚はない。不思議なことだが不在感はそう大きくないのだ。これが何に起因するものか自分では分からない。ただ実感的事実としてそうなのだ。

生活の役割分担はぐんと増えた。一人なのだから当然だ。ゴミ出しに洗濯、食事の片付け、家の清掃(これは新規参入した「ルンバ」に励まされている)、メンテナンス。不具合家電の調整から、不測の事態への対応。宅配の受け取り。地域住民として町内会の分担。そんなたくさんのことを一人でやりながら、その報告を遺骨にしている。

相変わらず妻のことで涙することはなく、喪失や寄る辺なさを感じることもない。今に至っても、「人生最大のストレスは配偶者の死」なるストレス理論の実感はない。今後どうなるかなど予想できるものではないが、できるだけ今の自分の言葉で、自身内にある実感に添って残りの人生を過ごしたいと思う。

紛れもなく日本の高齢化社会ゆえだが、少々やかましくさえすぎの「高齢者マーケット」狙いの輩やそんな言説とは距離をとっておきたいものだ。そんなに歳をとってもいない者達が口にする老後の不安など、市場目当ての流行語なのだと見破っておけば、必要以上に振り回されることはない。いつかちゃんと死ねるから安心しておけ！である。

\*\*\*\*\*

2020

11/16

先輩やもめ男(漫画集団「ぼむ」メンバー8人中、3人が妻を先に亡くしたことになる)の誘いで、漫画家三人衆で旅に。

この顔ぶれは遥か昔、エジプト旅行に出かけたメンバーだ。山代温泉のこの宿は go to トラベルで全館満室だとか。コロナで騒いで、景気で慌てて、割引旅行で煽るなんて、正気とは思えない。利用はさせて貰ったが、海外の騒ぎもたいがいだが、落ち着いたらどうなの。



11/17

高齢者の流行でしょうか、越前朝倉氏の一乗谷を散策。まもなく NHK 大河ドラマでは信長に攻められる谷間。S運転の可愛い FIAT チンクエチェントとやらに乗って、秋ウララ。



11/18

キッチン前の出窓に妻が残したカランコエの鉢がある。今、花はつけていないが肉厚の小さな葉がかわいい。仲間をと思って知識もなくカランコエの小鉢をネットで注文。届いたときは葉と蕾だったのが綺麗に咲いた。家の周りにはどこからか飛んできたのかツワブキ等が咲いている。晩秋のこんな時期に花盛りだ。



11/20

浜松から H 君が話しにやってくる。C 君の市内共同オフィスで三人、長々と懇談。彼の手土産

は文春新書「農業新時代」に登場したピーナツバター。本物すぎて、市販品に馴染まされた味とのギャップに驚く。その後三人でロシアレストラン「キエフ」に。訪問時に食べたウクライナ料理の記憶からすると、とても日本風に寄せてあった。



11/22

昨日は一日自宅で原稿を書いたり読書したり。夕刻、次男が立ち寄ったので、車で飯を食いにしかけた。食器乾燥機のタイマーが壊れて買い換えたかったが、持ち運ぶには大きすぎ。良い機会だと、帰路 K's 電気に立ち寄って購入完了。

今日は KISWEC に家族面接を一件見に行つてその後お茶、歓談。



11/23

五年前の今日の呆れたツイートが出てきた。今ではしなくなったことが多い。授業をしなくなった、一人暮らしになった、コロナで外国に行けなくなった・・・、数年で状況はコロコロ変わる。「今」な

んて、ホントあてにならないヨ。思い詰めやすい人、時代を鵜呑みにしやすい人に言ってあげたい。



11/23

晩秋は落ち葉だ。まわりの家には常緑樹が多いのか、向こう三軒両隣の路上の落ち葉は、ほぼ我が家のものだと気付いた。

人生初、お隣さん、お向かいの路上の落ち葉掃き。昨夜は自治会役員の当番が次年度だとお知らせあり。いろいろあるなあ。



11/23

今朝の天声人語が心に留まった。いつの時代も安穩に過ごせた訳ではないといえそうだ。

でも、今から生きる若者の暮らしに、団塊世代の関心が薄い気がしてならない。人口の多い世代の男性が占めている国会議員は、お得な政策以外考えられないのか？安物の政治だなあ。



11/24

想定外はいつも起きる。孫のところに祖母(妻)の遺したピアノを届ける手筈になっていた。業者が来てくれてさてというところで、部屋の扉幅が、ピアノより狭いことが判明。ピアノを分解するか、部屋の扉の立て付けを解体するかだということで、出直し。

ならば、そもそも部屋にどうやって入れたのだろうか？そんな経験、ありますか？



11/25

夕刊フジのこのシリーズの取材を zoom で受けた。asoblock と繋がりのある人で、経歴を以前、息子から聞いていたフリーのライター。

長話になってもいいつもりでセットしてあったが、それにしても四時間は、我ながら呆れる。面白い経験の人なので対人援助学マガジンへの連載をおすすめしておいた。

11/26

季刊「対人援助学マガジン」第43号の編集に取り掛かっている。55人以上の連載執筆者の原稿がワード版25日、PDF版30日締切で続々届く。新連載も二名あり盛況である。いろんな現場の人たちが現在の記録を積み重ねていける場を10年以上、継続維持出来ているのは誇りだ。この意義は後でわかるだろう

三年前、既に読んでいた本の書評を読みかえした。ツイートもした。やはり、今でもとても印象に残り続けているグラフィックノベル。私はこんな要約も解説もできないなあと思ったことも思い出す。世界はこんな風なのだね。国内だけ見ると、コロナとオリンピックしかないみたいだけど。



11/27

家電を搬入に来てくれた人と話していたら、「団さんってKBS 京都に出てはりました？声そのままですわ」と言われた。懐かしい！昔、ラジオでいくつかの番組に、数珠つなぎのように出ていた。諸口あきらさんの番組、いくよるよさんの番組、そして昼の情報番組の村上アナ。声の記憶か。



11/27

昨夜から家事野郎だ。夕飯はステーキを焼いた。ランチはだし巻きと納豆、椎茸昆布、煮豆。昨日届いたTVショッピングのこれでレンジ周りを掃除。誇大広告ではなくきれいになった。落ち葉掃きも二度目。届いた原稿を整理しながら、明日の講演のパワポの詰め。そして今夜はみぞれ鍋に初挑戦。



11/28

小規模対面の講演会にJRで亀岡に。初夏に続いて二度目。主宰者の北村君は長い付き合いの人。15歳年下だと言われてエツと思ったが、それでも58歳。若くはないね。教育分野の頑固さにチャレンジして20年、継続していることに賛。私としては自分が頑迷な老人にならないことを自戒するばかりだ。



11/29

三宮から高速バスで、今このあたり。雲の種類が多いのか？いい気分。



鳴門うどんを食べて、この俘虜収容所に。映画になった話に聞き覚えはあったが、何故、ドイツ人捕虜が徳島に？中国、青島から連れてこられた第一次世界大戦の話。なるほどそうか。



夕食は徳島駅前。以前、前を通って気になった店でピザ。誰かと食事をしているのも楽しいが、1人で食べているのも悪くない。洋梨と生ハムのサラダがおいしい。ピザも久々でおいしかった。



11/30

当然のことながら、徳島は観光に来たわけではなく、朝からの1日プログラムのための前乗りだった。駅のJR系ホテルの朝食、混雑もなくスムーズ。さて、六時間のメニューに出発。-



12/01

コロナ、妻の死と波乱の2020が師走をむかえて。ありがたいことに私は、新しい仕事やプランを用意してもらって、元気に年末を迎えられそうだ。

「士郎さん.com」ホームページでその情報が、週刊連載コラムと共にご覧頂けます。是非、どうぞ。

発売中のこの雑誌に、連載「木陰の物語」とは別に、こんな記事が4ページ。書いたのは私ではなくライターさん。だから簡潔でわかりやすい。だらだらと長いのが特徴の私は少し反省。反省だけならサルでもできる、って古い？知らんか？



12/02

月刊福祉2月号用の記事の校正中。6ページにまとめてくれているものを読む。でも一番目につくのは、髪が白くなったなあってこと。ここでも話題になる「木陰の物語、連載を再開したらいいのになあ・・・」。読者から、「楽しみにしていましたのに・・・」って私に言われてもねえ。



12/03

朝は久々の人が相談に。相談室のあるビルの一階。二軒のテナントが相次いで閉店。ガラーンとしている。コロナがじわりか。午後は髪を切りに行ってからドトールで連載原稿を書く。この店、偏

って高齢男性率が高い。自分もそうだから文句ではない。夜は仕事場で福島、楡久里からの zoom トーク参加。

12/04

夕刻からここに。いつもの講演会とは違って、若い漫画家とやりとりできた。教室で zoom とライブの混合。お相手は静岡にいる。いよいよ孫の方が歳が近くなった学生たちに、伝わるようにと思いつつ、結構、高度なことを誤解もおりこみ済みで話す。熱は伝わただろうから、それでよし。



12/05

今年度ラストの東日本家族応援プロジェクト福島。午前の私の担当は何だか早口になってしまった気がした。

午後は福島の実践を振り返った現地からの報告を聞いた。「孤塁」のことは、HP(士郎さん.com)のコラムに書いたものが月曜日にアップされるはずだ。FUKUSHIMA は誰も一口では語れない。



12/06

こんなに楽しめたアニメも久しぶりだ。可愛らしくエレガント。パリの街を散歩するような、でも不思議な物語が展開する。「ディリリとパリの時間旅行」



12/06

今日は一日、PCの前でzoom。東日本家族応援プロジェクトの今年度最後の回。福島の様々な問題が語られ、知らされる。長く関わってきたので知っていることも多いが、課題は進化するから、あらためて気付く事も。その間に、自宅 zoom なので昼食、夕食を作って食べる。我ながら感心なものだ。



12/07

今夜は対人援助学マガジンの編集日。午後、仕上がっていた自分の原稿を消してしまうポカ。焦ったが、校正用にプリントアウトしたものがあつたので、それを音読入力して復活させる。何とかなるもんだなあ。千葉、大谷編集員と三人で恒例のCoGo 壱カレーを食べながらウダウダ。今回も300頁越えた。



12/08

ずいぶん昔、京都御所側のギャラリーに版画家山本容子の作品がたくさん展示されていた。その中から映画「道」をテーマのものを一点購入して自宅に掛けてある。

先日、丸善ギャラリーで久々に個展を見た。気に入ったものが一つあったが、今回はやめておいた。それが掲載された25年前の図録を買った。



12/08

鴨川は広いし、何がいてもいいんだけど、こんなのがいると、つい撮ってしまう。鳥だあ、でもいいんだけど、何だこれ？。多分、鷺だよな。花とか鳥とかの固有名詞のレパトリーが貧弱だ。花鳥風月に疎いのか。風月って何だ？モダン焼

きしか思いつかん。七十も遠に過ぎてこのざまか。



12/09

連載者五十人越えとなると、いくら合理的な編集方針といっても、処理要件は半端ない。今朝は自宅起きてからずっと、昨夜も午前3時前までやってたんだけど、編集作業。

自分の原稿の校正を調査者の次男に頼んだら、几帳面なものが戻ってきた。凄い。その間にチラチラ読んでいるのがコレ。



12/10

朝、相談を一件。午後からは仕事場にこもって、マガジン43号の原稿を最終確認して発行所へ送信。30以上のデータだもの間違いはあるなあ。その後、土曜日に予定している第二回 zoomトークライブの二つの話をパワポにまとめる。今回も定員いっぱいまで締め切ったと聞く。面白いものになりたい。

12/11

朝から、アップライトピアノの解体運搬が始まった(先日失敗、断念したやつ)。三十年ほど前、やはりそのようにして入れてくれた業者さんが判明してお願いすることに。



開口一番、「前にもやっているの外しやすい」と言われた。妻がやっていたことで、私は関心もなく、現場に居合わせたこともないので全く記憶になかったのだ。

よくあることではないが、今回はギリギリまで、話の準備をしている。明日のトークライブ、第一話に一コマ漫画家から木陰の物語作家に転じていった経過を、作品や当時のトピックスも含めて話す。三十年近く続けてきたことからの転身だった。







12/12



さあ本日これを無事終えて、早々と一息つける年末に突入。来週のWSがコロナで延期になったので、ちょっと早めだけど、良い感じで2020年分はこなし。マガジンの発行はまだ校了にはなっていないが概ねよし。年末年始は漫画関連で複数の書籍の分担部分に取り掛かるが、良いペースだ。

12/13

久々の立命館茨木キャンパス。オンラインと対面、混合の研究会。発表者のテーマの細部が輻射していて、興味深さと、何とも言えなさが自分の中で渦巻く。頭がついていかんことも。でも、脳トレだと思って聞く。面白い。終了後はいつもの三者で延々。



12/14

あれやこれや、したいことの山が12月前半に重なった。頑張ってひとつずつ片付けたので、今日から連休。自宅では映像三昧に。

まず大型TVにサウンドバーをセット。そして選んだのはこれ。グラン・ブルー完全版。映画館で観たことがあるが、改めて観て素敵だった。BDは本当に映像が綺麗だ。



12/14

玉ねぎ、ジャガイモ、キャベツ、人参にベーコンを加えた具沢山野菜スープをつくった。味は、コンソメ顆粒で仕上げに胡麻油少々。これで冷蔵庫に残っていた野菜が片付いた。味が単調になるかと玉葱の輪切りをソテーしてポン酢の一皿も。それにバナナとキウイのスムージーを添えて。健康な夕食。

12/15

予定通り、対人援助学マガジン43号がアップされた。人によって関心は様々だろうが、連載五十本以上もあると、どれか心動くものもあるのではないかと思う。ぜひお知り合いにシェアしてあ

げていただけると嬉しい。



12/16

先日の第二回 zoom トークライブで、第一話に一コマ漫画の話をした。そのジャンルで一番頑張っているのが永年の友人篠原ユキオ。対人援助学マガジンに一年前から連載を始めてもらった。今回、文章も含めて良いですよ。その一枚を。



12/17

編集という仕事、言葉に関心を持ち始めたのは、ずいぶん昔のこと。公務員時代、京都で開催されていた編集者講座に夜間1年通ったこともある。当時、肩で風を切っていた編集者、見城、花田の講演も聞きに行った。時代を編集する感覚は今も通用するだろう。文春編集部の物語を楽しむ。



12/17

届き物を待つために在宅。その間に韓国映画を一本。画面の細部に作り込まれたものが興味深く、楽しめた二時間ちょっと。夕飯は豚コマとトマト、玉葱の炒め物。醤油、酒、砂糖、ニンニク少々で、初めて食べたが美味しい。少し火を入れすぎたがるのは好みだから、黒っぽくなるけど美味そう。

12/19

連載コラムに海外旅行のゴタクを少々書いた。そこに使った写真がこのスーツケース。いろいろ試して、今は無印良品のこれが気に入っている。ひとまわり小さい色違いも持っている。この落書きは空港のターンベルトでも目立つ。旅のウキウキにちょうどよく賑やかだ。



12/21

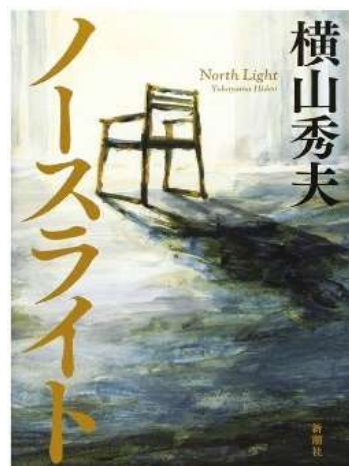
たまたま Kindle の読み放題でこれを目にしたから、専門と総合という話題が出てきた。スペシャリストとジェネラリストの事は私もよく話題にする。専門の細分化が強みであり、弱みでもあるという話にする。

そして別枠の論点として、家族システムの事に触れることになる。世界には他にも道がある。



12/21

好きな小説がドラマ化されるのは微妙な感じがある。多くの人が言ってきたことだ。でも、映像化されると気になるのでみてしまう。NHK 土曜ドラマで二週連続のこれを観たが、私には良かった。タイトルのノースライトの良さというのは、いまいち本でも映像でも届かなかったが、登場する役者が皆よかった。



12/22

夜中に見た「マザーレス ブルックリン」は、久しぶりに映画らしい一本だった。1950年代のNY、出てくる役者が良くて、切り取られた街がとてもスタイリッシュ。大都会の孕む欲望、権力を描くにピッタリ。物語は複雑な小説が原作なので、わ

かりにくい欠点もある。しかし映画のムードは満点だ。



12/23

何度かかすった事はあったが、小説を読んだ事はなかった池波正太郎。ムックに手が伸びて、思い出すこともあり、何度もTVドラマ化されている「剣客商売」を読み始めた。面白い！上手い！しばらく小説の部は池波ワールドだな。たくさんの人が楽しんで読んでいる物の凄さ。この文庫版 33刷だ。



12/25

新編集の一冊のため、「木陰の物語」の一話ごとの扉絵を作っている。結構手間がかかる年の瀬の作業になった。

そんな自宅一人作業の友は YouTube の講演。中でも河合隼雄さんの最終授業の中身に驚いた。

知らず知らず学んでいたことがいっぱいあったということなのだろうか？こんなに重なるかな？



12/27

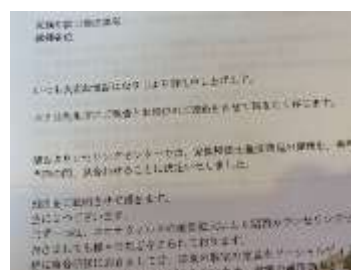
仕事場から好天の鴨川を渡って家族面接を見に KISWEC へ。なかなか面白い面接二つに思い出すことが色々ある。このところ非常にゆっくりした日々が続いている。お楽しみのこれは三巻目。年末に向けて、映画に読書の日々だ。創作も一つ手をつける予定。身近な人の人生の転機話を興味深く聴く。



12/28

年の瀬、請求書他いろんな郵便物が届く。その中に、読書仲間の W さんが SNS で本がダブっていると呟いたのを見て、下さいとお願いしたこれ。早速、読み始める。

名誉館長之証はクラウドファンディングの返礼品。そして、長らく続いてきた講座を閉じるというお知らせ。コロナの影響が避けられない。



12/28

夕方、「大津警察署です。突然失礼します。今、逮捕した詐欺グループ十八人の書類から、あなたの個人情報が…」と話し、私の住所氏名を言って、間違いはないですかと問う。

しばらく聞いていたが、話し言葉が薄っぺらい。通話録音をセットして引き続き相手をした。だがそれ以上に深まる展開にはならず、住所氏名、電話番号くらい情報とも思わないので詐欺だと認定してガチャ。

12/29

波乱の一年が閉じようとしている。一年前には思ったこともなかった事態を、それでも受け止めて年末を過ごす。出かけて行く仕事はないが、準備すべき事は次々あって暇にはならない。午後から今年最後の京都の仕事場詣。自宅とニヶ所を使い分けながら、道中、山科の無印カフェで原稿仕事。

12/30

思いがけず仕事場での作業にかかり切っている。年末だから程々にと思ったのに、書いたり、読んだり、企画を考えたりと忙しい。今日の手作

業の友はイザベラ・バードの日本紀行。以前コミックスで読んだが、朗読が面白い。三谷幸喜のナビで一時間半。YouTube は色々な物がみつかるなあ。



12/31 大晦日。新作木陰の物語のペン入れをしながら、これを聞いた。臆病者の嘘つきが、広告代理店のようなブレンと共に、大衆を煽り立ててゆくプロセスは、今も繰り返されていると言われて、腑におちる。そして 20 世紀に経験したこういう問題への策を、まだ我々の世界は持っていない。そうだなあ



2021/1/1

とんでもなく寒い元旦。昨夜から特に変化なく、やりたい仕事を続けている。昼飯には鶏肉をソテーしてケチャップソースを絡める。ごはんが進む。午後から次男が息子連れて来訪。夕刻、飯を食いにかけた。

前にも書いたが 10 年前の大晦日のツイート。それが満願だ。続ければ叶う。

1/2

新年早々、ファミリーヒストリーのフィールドワークに。65年程前の小学生時代、一度訪れたことがある三重県旧阿山村の私の祖父の実家。

何の前触れもなく、交流もない不審者の突然の訪問なのに、88歳の女性が確かな記憶(私の父、五士郎)を話してくれた。息子さんも交えて、Y家の家系図を見せながら次男が話す。



調査ドライブのついでに関宿に。想像以上に東海道宿場町らしい場所だった。しばらく前、ニュース番組の特集で見た記憶があったが、江戸時代の街道そのもの。フィールドワークと併せて、いい正月になった。



1/3

昨日は夕刻から仕事場に来て、集中的にやりたい作業を。今朝、野菜ジュースを一本飲んで歩

きに出かけた。鴨川を北に下鴨神社まで、途中から「初詣」の人の流れにのる。

その後、京都御苑を抜けて、烏丸丸太町の以前も来た店でナポリタンを食べる。ここで 10800 歩。なかなか疲れる。



1/4

告知。2020 年 8 月、12 月とたくさんの方に参加いただいたトーク・ライブの三回目をやります。本来ここは東京での家族理解ワークショップの日程だったのですが、コロナ禍は慎重に対応と考えて中止しました。そこに第三回を入れました。まだ、中身は決まっていますが、一時間漸を二本立てで。



1/5

正月の雰囲気のあるものを身近に探してみた。これは 6~7 年前、中国雲南省麗江に行った時にのぞいたトンパ文化博物館で、書の先生に書いてもらったもの。団士郎と書いてある、らしい。

なかなか魅力的なトンパ文字が街中あちこちにあった。



自宅で三つの仕事の準備をしながら、昼食と夕飯の用意。その間に、年末年始のお楽しみのこれを見耽る。Netflix の長いシリーズものに手を出してしまっただが、でも面白いんだなあ。小説も暮れから、これにかかりきり。シリーズ物って、あたりがついて安心して楽しめるところが怠惰ではあるな。



1/6

観るかどうかを迷っていた「えんとつ町のプペル」。人に薦められ観て正解！志の輔さんの長台詞がとにかく良い。それに DAN なんて人もいい奴で登場。コロナのこの時期に公開になる西野君の運命、使命にも感服。自分の物語をかたる強さを改めて思う。



1/8

昨夜から zoom による隔週 6 回連続の講座。季刊誌「かぞくのじかん」の読者中心に、初めて聞いて下さる方の多い催し。心残りは zoom 画面のちょっとした不具合の影響でアクセルを踏みすぎた気がしていることだ。連続ものなので、次回はもう少し落ち着いてなんて思って気持ちをおさめている。



1/9

亡くなった妻が担っていた諸契約を解約、変更しなければならない。しかしこれが本当に面倒。つつい放置しておく、利用実績はないのに課金され続ける。昨日、長男がそれを一つずつ、整理してくれた。まだ残りはあるが、とにかく一つ一つ片付けてもらうしかないようだ。ありがとう。

夏は中止になった KISWEC 家族療法 WS。冬期 step1 をなんとか開催に。一人一人に机を入れて、フェイスガードでこんな風にスタート。直前に欠席になった方も四名。致し方ないよね。



1/10

ちょっとした時間の隙間に、書評が目についたこの短編集「コロナと潜水服」の一話を風呂で読む。こなれた展開、心地よいストレスの解放、上手なおとぎ話が楽しい。

一緒にこの第二巻も購入。s.アレクシエーヴィチは長いことかけて読んでいた大部、「セカンドハンドの時代」の著者でもある。



1/11

今月号の月刊福祉にこんなインタビュー記事が 6 ページ掲載されている。近くにあったらご覧ください。



溶接技術者研修会みたいな雰囲気だが、そうではない。もっとも、くっつけたり、切り離したりと関係なくもない。3日目、最終日のワークだ。





1/13

ファミリーヒストリー関連で次男とあれこれ話すことが多い。昨日、こんな本「頼介伝」を読んだけど、この人の調査には敵わないと言って本をくれた。松原隆一郎氏は何かで記憶にあった。関連書の「書庫を建てる」を何処かで目にしていたのだろう。読み始めると面白い。家族史は近代史なんだよね。



1/14

朝は相談一件。元気に帰っていかれた。午後、新刊の表紙絵と後書きを仕上げて発送。ちょっと久しぶりにキングコングの二人の YouTube を見ていたら、うっかりして 19 時スタートの zoom 会合に遅刻。照明にネットと女優ライトとやらを買ったら、こんな小さなサイズだった。子役用か！あまり役立たず。



1/15

週末の金沢、来週の浜松と続けてワークショップを延期にした。準備も不要になったので時間的余裕がたっぷり。ならばと毎年続けてきて、昨年で一区切りした東日本家族応援プロジェクト木陰の物語を、今年のぼむ展用にカラー掛け軸版制作でスタート。試行錯誤で色や背景を探る楽しみ。



1/16

今日は亡き妻の 71 回目の誕生日。でも、もうそんな祝いはないなと思っていたら昨日、この花束が届いた。何？と思った。ハッピーバースデーの言葉と一緒に送ってくれたのは、典子の葬儀を受けてくれた僧侶、竹中君だ。もう命日のことを語るだけかと思い込んでいた。そうだね、忘れる事はない。



1/18

年末、映像と音を楽しみたいと思って、75 インチ大型 TV とスピーカーシステムを導入した。私には珍しい高価な買い物だ。これで観るのは新作もいいが、名作の再見がいい。ブルーレイの画像は本当に綺麗で、映画館で観た時とは違った感動が届いてくる。アラビアのロレンス、映像に感無量。





1/19

2017年の今日、こんなことを書いていた西野君が制作した「えんとつ町のプペル」が今公開中だ。実は絵本の絵があまり好みではなかったので、ためらったのだが、観てよかった。とてもよかった。アニメのキャラクターは絵が変わっていた。シンプルなメッセージの物語がいい。

国士郎 @kunitarou 1/19(日)  
二年前、NYで家族映画を観る直前に、西野氏がクラウドファンディングで集めた資金でNYへ帰国をしたことを知り、その経緯を本とぬいぐるみも読んだ。次々と意思を固くして、行動し、結果を出してゆくのが素晴らしい。今あるものの次の一歩を模索している姿に共感とエールを送ります。  
http://www.kunitarou.com/



1/19

朝、ストレッチに。丸善で初見の本を二冊購入。翻訳物の方から読み始める。また併読書が増える。これは小説だから、面白ければ加速するだろう。平日に丸善で本棚を眺めた後、ランチするなんてとても優雅だ。出版予定原稿の感想を求め

られている。テンポよく読めるものになっていて面白い。



1/21

朝は相談室で一件。嬉しい決意表明の方と三度目の面談。また半年後に報告に来ますと軽やかに語る。嬉しい。夜は二度目の zoom 講座。一般の方の参加も多いプログラム。本日は家族の境界の話をする。私流に実用化アレンジをしているのだろう。常に新たな気づきがあるのが語りの面白さだ。



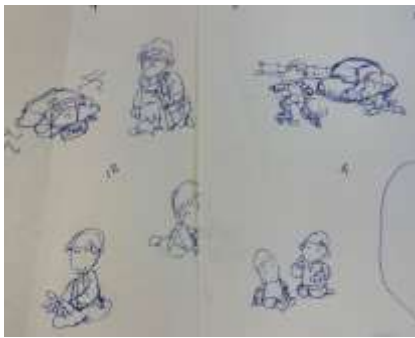
1/22

妻のスマホの解約にソフトバンクへ出向く。死亡診断書を持ってこいという。契約は簡単で、解約は面倒なんて商習慣を、世の中が支えている。息子がやってくれているけど、とっても面倒。その前にいくつかのクレジットカードの解約。そして、自動引き落とし口座に指定されていた通帳の変更も。



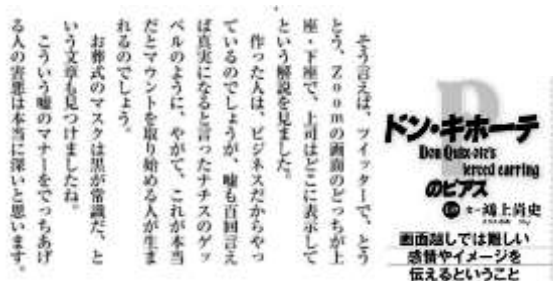
1/24

連日の小雨空。灰色で気持ちが寒々しい。緊急事態宣言下でもあり、家を出ようという気にならないので3日間、こもっている。その間に木陰の物語新作を描き始める。合間に食事、家事、入浴、映画、読書など挟みながら、快適に過ごす。一人でいるのが割と好きらしい。



1/24

雑誌の鴻上さんのコラムでこんなことを読んで爆笑した。そんなことを真面目そうな顔で言っている輩が浮かんだからだ。こういう人って、ニュースショーのコメンテーターと同類だろう。何でもかんでもちょっと思いついて喋るもんじゃないうと思



1/25

マイナンバーカードなんて使わないよ！と言っていたのに、コンビニのマルチコピー機で年末年

始、二度も印鑑証明を取った。便利！マイナンバーカードのコピーを講演先の事務局からあちこちで求められるので正式のを去年作った。それでもブツブツ言っていたのに今やこのザマだ。3月にも又、印鑑証明を取ることになる。

1/26

新作のペン入れ完了。新刊「こどもが小学校にあがる前に読みたい木陰の物語」用のイラストを編集者、デザイナーとやりとり。

東日本家族応援プロジェクト絡みのMさんの新刊のイラストも思案中。合間に、目についた映画。カナダのこの監督の作品、前作も記憶にある。これもザワザワする映画。



1/27

昨年末、取材に来てくれたライターの記事が掲載された。生涯現役、そう思っているから、一生働く！という記事のタイトルが気に入った。今日もあれこれ楽しく忙しい。



1/28

ランチがてらに、碁盤の目に区画が作られた京都市街地ならではの散歩方法を試してみた。あみだくじ式で四角を必ず曲がる。その結果、近くでも通ったことのない街並みが沢山あることに気づいた。観光客はほぼ見かけないので、お店

の人は親切だ。なんだか余裕を感じる。ホントは大変なんだろうけど。



1/28

校正が届いた木陰の物語新刊本。初めてコマ割りの枠に入っている。各話の始まりには扉絵も。「子どもが小学校に上がる前に読みたい木陰の物語」全二十話。半分ほどが初書籍化作品。お馴染みの作品とのハーモニーで、ズバリ！書名が発行趣旨。その方達に届けたい。3月には発行。お楽しみに。



1/29

一つ仕事を終えて、確定申告の為の帳簿に手をつけ始めた。ヨシヨシと自分を褒めておいて、夜はこれ。ダイアン・キートンはずうーっと昔から好きな女優さん。いい歳の取り方をして、気持ちの良い役を軽やかに。歩いてるだけでかっこいい。



1/30

土曜の朝、又寒いなあと思ったら、窓の外はうつすら雪景色。滋賀県の大津は現在摂氏2度。しばらく暖かかったので、寒く感じる。朝から読書のお供は、バナナと人参のスムージー。そして残ったバナナ。どんだけー！



1/30

こういう映画に出会うために、あれこれ見ているんだなあと思った。第二次世界大戦直後、イギリス海峡の島。そこの人々は、戦時中に受けた心の傷を引きずっていた...こう書かれたコピーに引き寄せられてビンゴ！の夜更かし映画会だった。さあ、寝よう。





映画「アース アメイジングデイ」を観ていたら、ナレーションに掴まれた。アフリカの諺「早く行きたければ、一人でゆけ。遠くに行きたければ、みんなでゆけ」同じことを思ってきた。

だから同時に「連帯を求めて、孤立を恐れず」にもうなづいてきた。近年やっと、みんなで行ける仲間ができた気がする。



2/1

連日の夜更かし映画会。狙いを定めてこれ！いい勘かなと思ったのに、それほどでもなかった。なんだろう、見たい感じは、こういうのではないんだよね。



2/2

十日かけてゆっくり読んだ。手にした時想像した映画的なものより、ずっと文学寄りの素晴らしい読書になった。誰もスッキリはさせて貰えない。子供っぽい白黒で出来事を語らない。フィクションゆえの強さだろう。現実は多分、根気がないからハッキリしたがるのだ。人はそれより長く生きる。



確定申告の帳簿整理をしている。昨年6、7月頃からこういった日常生活の買い物レシートが多く紛れ込んでいる。妻が入院、自宅療養生活に入ったからだ。まだそれなりに元気だったので、「余命一年かあ」と、時々夕空を見上げていた頃だ。8月に亡くなってしまふなんて思ってもみなかった。

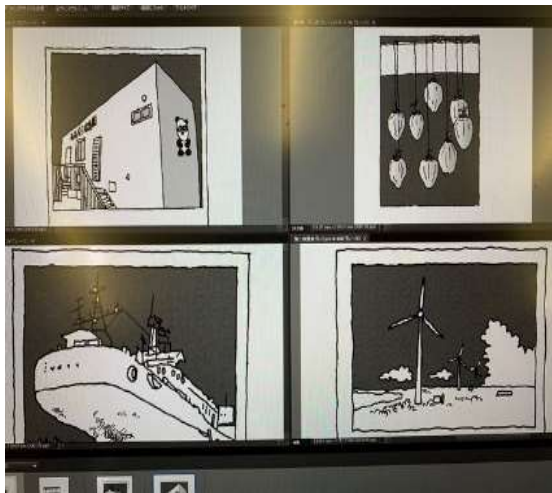


2/4

進行中の作業は、確定申告の準備。70%くらいできたかな。やはり去年、特に後半は売り上げ？がガクッと落ちている。

依頼されて書籍の挿絵を二十数枚描くことに決定。まだ三分の一くらいだが、漫画寄りではな

い描き方を選んだ。こういうやり方もちょっと楽しい。



2/5

zoom 家族理解講座の3回目。久しぶりにネクタイを試してみた。だいぶ慣れてきて、落ち着いて話せるようになってきた気がする。

中身は相変わらずで、想像つくでしょう。来週末はトークライブの第3回目。申し込みが100人を超えて締め切ったらしい。



2/6

週末、かかりきっているイラスト作業。BGMは神田伯山の講談。それも通し読みで「畔倉重四郎十九席」。なかなかの聞き応え。こんなに楽しく聴けるとは。小説「剣客商売」もだが、このところ時代物にはまっている。



2/6

定期購読しているキネマ旬報が届いた。今号は邦画、洋画の年間ベストテンが発表されている。リストに観たものチェックしていくのが恒例の習慣だ。しかし今年、びっくりするぐらい観た作品が少ない。これではもう映画ファンとは言えないなあ。ガッカリしてしまった。



2/8

三時間半かぁ・・・と躊躇はあった。でも、どこかで観ておきたいと何度も思った「アイリッシュマン」を、今夜こそとNetflixで。

良かった。観たことのある世界を、スコセッシ監督、デニーロ、パチーノ、ペシでたっぷり描く。みんなおじいさんだけど、観ている自分もそうなのだから、懐かしき映像文化。



2/9

wowow とスカパーで録画し続けたBDの映画タイトルが制御不能な数に。五～六作品収録のデ

イスクが 200 枚以上ある。そんな時、宮崎の読書友達 W 君の Facebook でこれを見た。書店で見ているような気がするがバックナンバーになった雑誌を購入。早速、ビンゴ。直ぐにも観ようと思うタイトル二つに遭遇。有難い。



全く知らない映画「COLD WAR」。細野晴臣が語る音楽センスのいい監督論という記事に登場していた作品。モノクロ映画がこんなに綺麗だとは、、、。



2/10



週末から来週にかけてスケジュールが混んでいる。だからその準備に慌ただしい。先ず事前に資料が欲しいという先の予定分を片付ける。そして週末のトーク・ライブの二席、なんて言っちゃっ

たら演芸会だね。何を喋るかおまかせメニュー承知の方が大勢。是非とも楽しんで頂かなくてはと工夫する。

2/13

第3回目のトークライブが無事終了。

現在252話になっている「木陰の物語」が雑誌で新連載になる前後、21年前に連なるさらに前の物語を第一話に。

いろんな意味で創作者として関わってくださった上野瞭さんとの記憶を第二話に、計二時間。今回も100名あまりの参加で有難いことだ。



2/14

鮮烈な印象の「明日に向かって撃て」以来、ずっと格別だった R.レッドフォード。近年は関心が薄くなっていただけだなあと思った。俳優引退作でも、スクリーンのこちらに向かって、指鉄砲で撃っていた。相手役のシン・スピーセクも懐かしい。衝撃の怪作「キャリア」からだもの。

